

FAPGJ/FCSGJ106Sシリーズ(進PⅣガスもれ付)
遮断スイッチ設定表／接点、ジャンパーピン構成図

件名 :

型式 :

(例: FCSGJ106S-B34-50LT)

新規
更新
発行会社名:
部所:
管理番号:

承認	検証	担当

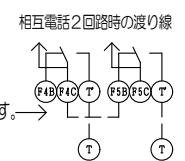
【はじめに】

本資料は、連動先の遮断スイッチ設定確認とジャンパーピンの設定を行うための準備として記入するものです。現場の仕様に準じて本資料に記載してください。また、設定後は、本記録用紙を大切に保管してください。リニューアルや
基板交換時に設定した内容の確認が必要となります。なお、本受信機を使用するにはジャンパーピンの設定以外にデータベースの設定も必要です。(TM10890「FAPGJ/FCSGJ106S(進PⅣガスもれ付・多回線タイプ)機能設定表」を参照)

【ジャンパー設定の記載方法】
(例) JTELの設定: 1-2間に設定の場合
注) JTEL、JPKのみ出荷時より設定済みのため〇が付いてますが、
変更する場合はXを付ける等の対応をしてください。

【移報接点の構成】
■受信機
・移報接点の標準装備はF1~F25 (PSU基板) です。
・ROU基板 (オプション、20点/枚、最大5枚まで) により、F26~F125 (最大)まで追加できます。
・F4、5はトランスマス接点 F1~F3は独立したコモンのマーク接点、F6~F125は5接点で1コモンのマーク接点です。
・ステータス運動で「異常代表」または「主電源断」にした場合、正常時にリレーがオン状態となり、C-A端子間が導通します。異常時にオン信号が必要な場合は、F4、F5 (C接点) のC-B端子間を使用してください。
■P型インターフェイス盤
・SOU基板 (20点/枚、最大5枚まで) により、S1~S100 (最大)まで追加できます。
・S1~S100まで全て5接点で1コモンのマーク接点です。
注) ROU基板 SOU基板は盤のキャビサイズにより枚数が異なります。

【地区音響の使用方法】
・本機の地区音響回路は、従来の進Pシリーズ同様、鳴動時マイナスコモン (BKC) です。(監視時は極性反転して断線監視を行うため、BKCはプラスになります。)
・BKC-BKF端子は一斉鳴動時に使用できます。
・区分鳴動はF6~25接点を使用し、地区音響有電圧移報用のジャンパーピンJP F1~JP F4、地区音響一斉鳴動用のジャンパーピンJP A1~JP A4を設定してください。
注) 地区音響として使う場合はF6から前詰めで使って下さい。F6~10が無電圧a接点でF11~15を地区音響(有電圧)のような使い方はできません。
ダイオード付ベルを使用する場合 : 地区音響断線・短絡監視回路を雷から保護するため、ジャンパー設定 (JP FN1~4) を必ず行ってください。ジャンパー設定 (JP 6~25) を行い、TN52079『データベース設定説明書』を参照の上、「06空き回線」で使用する地区音響回線を「使用」に設定してください。
一般型ベルを使用する場合 : ジャンパー設定 (JP FN1~4, JP 6~25) は不要です。ジャンパーピンJP Kを取り外し、TN52079『データベース設定説明書』を参照の上、「06空き回線」で地区音響回線を「空き」に設定してください。



【相互電話の使用方法】

- ・相互電話を行う場合は、ジャンパーピンJTELを2-3間に設定してください。
- ・相互電話が1回路の時: F5のトランスマス接点を使用しジャンパーピンJT1の設定を行います。
- ・相互電話が2回路の時: F4、F5のトランスマス接点を使用しジャンパーピンJT2のみの設定、ジャンパー設定の他に端子側 (F4C-F5B間) に渡り配線が必要です。

【諸表示 (L X) の電源について】

- ・諸表示 (L X) を受信機電源 (±) から供給する場合、ジャンパーピンJP1-を設定することで、I-とL XCの渡り配線は不要になります。

1. 遮断スイッチ設定表 (機能設定表TM10890の2項 オプションスイッチの設定と8項、9項 移報出力回線設定の遮断スイッチ内容と同じものです)

スイッチ名称(標準)	スイッチ名称(変更時)	遮断する接点
非常放送遮断		
火災代表遮断		F接点 (FA-FC) ※固定
消火栓遮断		
防排煙遮断		

スイッチ名称(標準)	用途	スイッチ名称(変更時)	遮断する接点
OP1	遮断 / ノンロック / ロック		
OP2	遮断 / ノンロック / ロック		
OP3	遮断 / ノンロック / ロック		
OP4	遮断 / ノンロック / ロック		
OP5	遮断 / ノンロック / ロック		

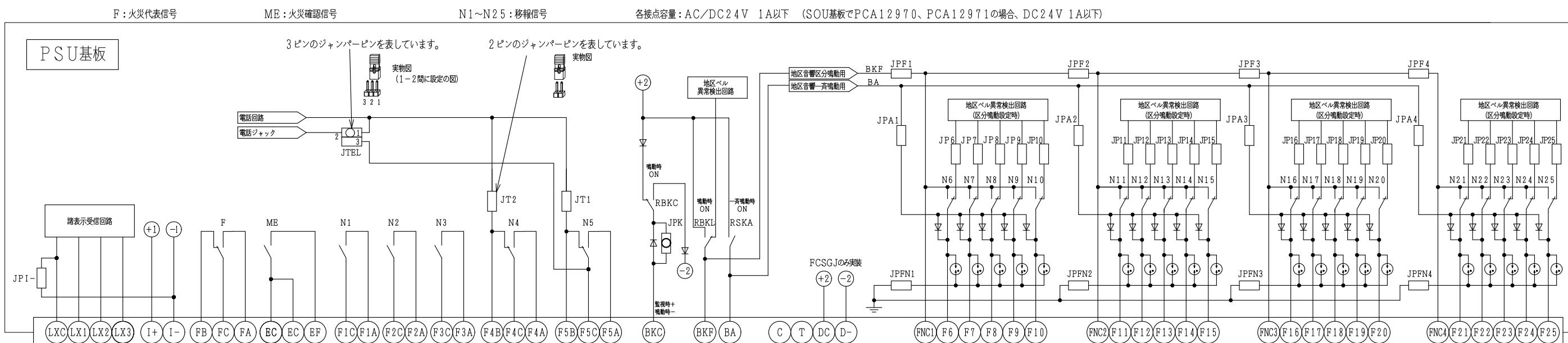
2. 接点、ジャンパーピン構成図

(2-1) PSU基板

- 地区音響出火警直上階鳴動 : JP F1、JP A1短絡 (F6~10を使用する場合)
JP F2~4、JP A2~4短絡 (F11~F25を使用する場合)
- 諸表示 (L X) 電源用 : JP 1-短絡 (受信機電源を使用する場合)

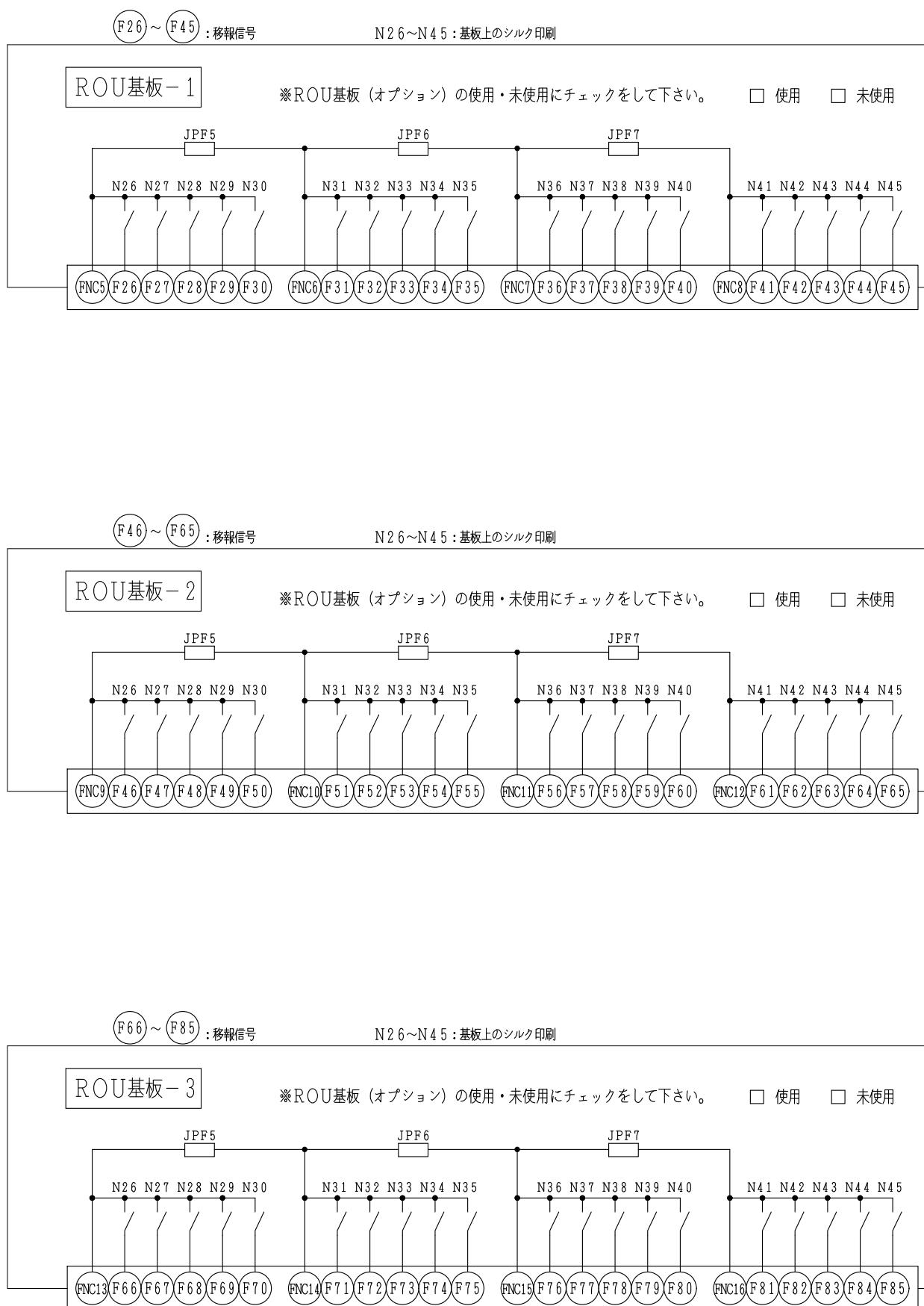
- 地区音響回線の断線・短絡監視 : JP K短絡 (出荷時は短絡)
JP 6~25短絡 (F6~25を使用する場合)
JP FN1~4 (F6~25を使用する場合)

- 基板内コモン共通化 (無電圧) : JP F2~4 (F6~F25を使用する場合) 注) JP F1は使用不可
- 相互電話 : JT n (1回路時: JT 1のみ、2回路時: JT 2のみ)
JTEL (2-3間) 短絡 (出荷時は1-2間短絡: 相互電話無しモード)



(2-2) ROU基板 (オプション)

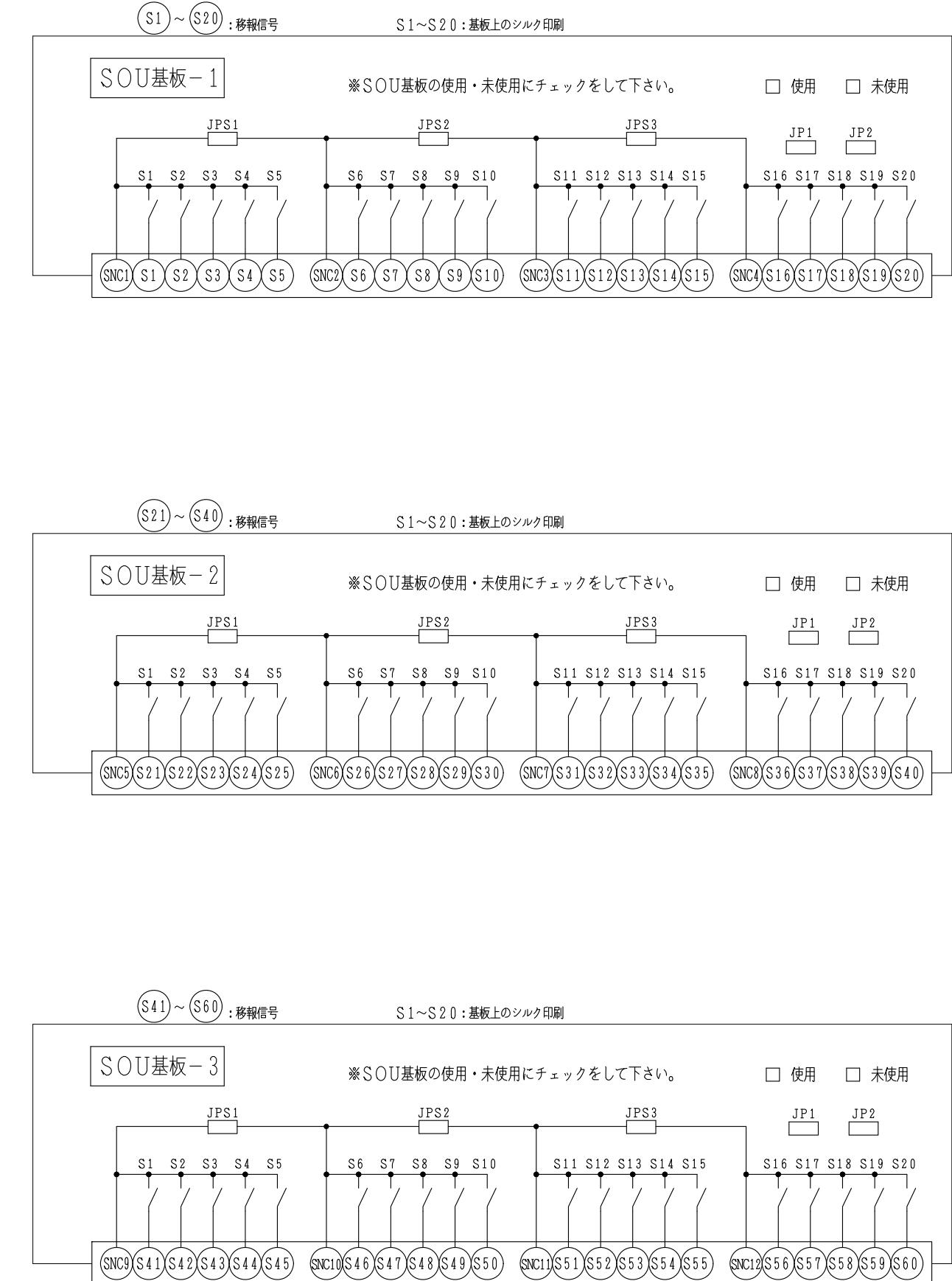
- JP F5~7を設定することでコモンの共通化ができます。
- ROU基板にて地区音響有電圧出力に対応する事はできません。



(2-3) SOU基板 (P型インターフェイス盤の手配時)

- JP S1~3を設定することでコモンの共通化ができます。
- SOU基板にて地区音響有電圧出力に対応する事はできません。

【終端設定方法】
・基板番号がPCA12972以降の場合、末端の基板には終端抵抗用のジャンパープラグJP1、JP2を取り付けてください。



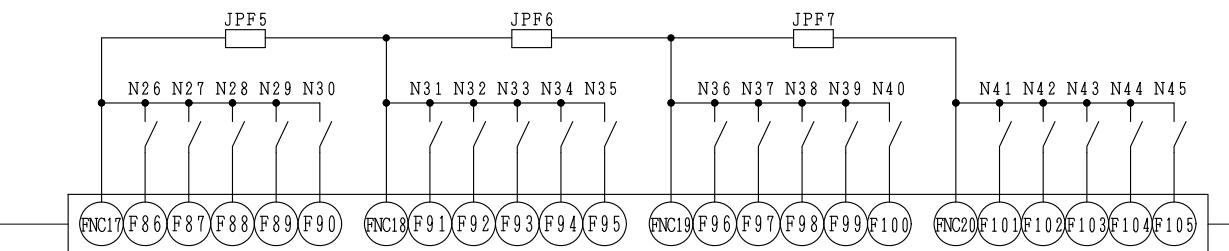
(F86) ~ (F105) : 移報信号

N26 ~ N45 : 基板上のシルク印刷

ROU基板 - 4

※ROU基板 (オプション) の使用・未使用にチェックをして下さい。

使用 未使用



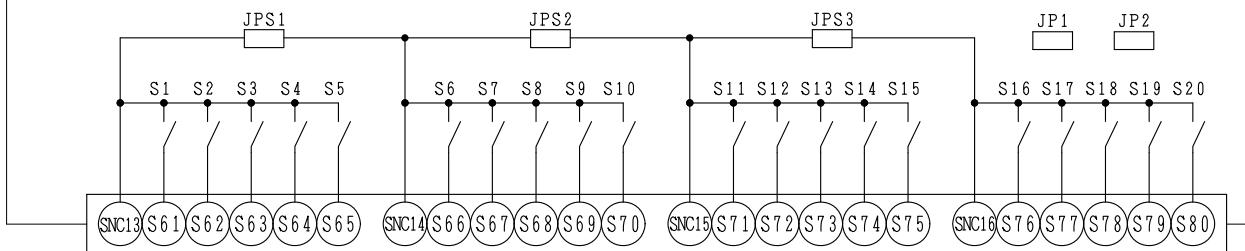
(S61) ~ (S80) : 移報信号

S1 ~ S20 : 基板上のシルク印刷

SOU基板 - 4

※SOU基板の使用・未使用にチェックをして下さい。

使用 未使用



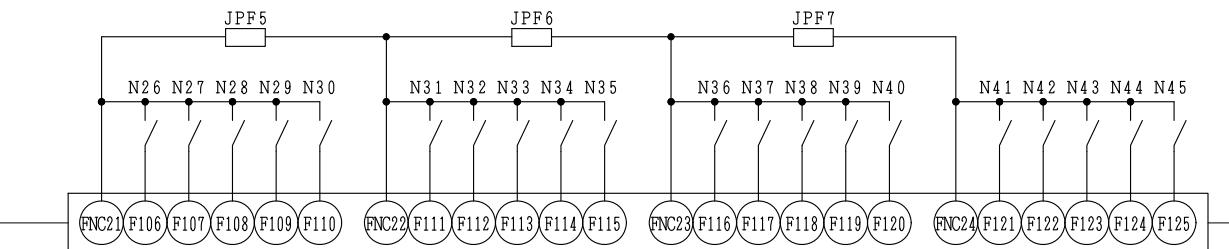
(F106) ~ (F125) : 移報信号

N26 ~ N45 : 基板上のシルク印刷

ROU基板 - 5

※ROU基板 (オプション) の使用・未使用にチェックをして下さい。

使用 未使用



(S81) ~ (S100) : 移報信号

S1 ~ S20 : 基板上のシルク印刷

SOU基板 - 5

※SOU基板の使用・未使用にチェックをして下さい。

使用 未使用

